

ストップ 戦争法案!

民報



NO.1026

2015・7・5

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三・四四五八
F 四三・四四五七



全国の反対世論に呼応して

3週連続の街頭宣伝行動を行う

6月27日街宣に多彩な訴え!

日本共産党網走市委員会は、13日・27日に続きベーシック駒場店前、ベーシック橋北店前で「戦争法案反対」の宣伝活動を行いました。今回ははじめてという女性の方と男性の方がマイクをにぎり訴えました。今後、毎週土曜日の午前11時より同じ時間と場所で宣伝活動を行う予定です。「戦争法案反対の一点」で多くの市民のみなさんの参加を呼びかけます。



国保料が下がる!

6月議会の文教・民生委員会に国保料の料率変更が報告され、医療分では所得割が0.20%、資産割が2%、均等割が1,000円、平等割が1,000円引き下げになります。これにより1世帯平均で2,823円の引き下げになります。また、国保条例の一部改正では各賦課限度額の引き上げと低所得割を軽減する提案がありまし。これら保険料率の変更、限度額の引き上げ、低所得世帯への軽減拡大により、加入世帯の91%の世帯(所得645万円以下)で保険料が引き下げになります。この引き下げは、これまで署名活動や市議選で「高すぎる国保料は引き下げを」の願いが通じたともいえます。

菊地ひろし まっしぐら!

地域をまわり「戦争法案」反対の署名活動に取り組んでい

ますが、戦争経験者の方は署名に快く協力してくれ、活動に参加している人達の共通する声です。こうした市民の声や世論に押されるように、先月25日の総務経済委員会審議された「安保関連法案(戦争法案)」の廃案を求める陳情については継続審査となりましたが、結核の会から出された「安全保障法制の慎重審議を求める意見書提出についての要請」は全員の賛成で採択されました。市民の声が少しでも国に届くことを大変うれしく思いました。先月26日の札幌すすきので19歳の女性の「戦争法案」反対の呼びかけに呼応して700人の若者がデモ行進をしました。「私たちの未来は私たちが決めた」と(その通り)と声を上げ、今後も続けることです。網走だって負けられません、11日行われる「戦争法案」阻止市民デモ行進に多くのみなさんの参加をお待ちしています。

松浦 奮戦メモ

30日に一般質問をしましたが、1人議員になり課題がたくさんあり、最終的には

- ① 安保健法
 - ② 国民健康保険料
 - ③ 通学路の安全確保
 - ④ 住宅地の法面崩落
 - ⑤ 生活保護費の削減の5項目について質問しました。
- ②の国保料については91%の世帯が引き下げになります。③通学路の安全確保は、中央小、2中、桂陽高校に通う通学路が安全性に問題があるとの父母の声を聞き質問し、改善の方向が示されました。④の鱒浦の民間の住宅造成地における法面崩落を取り上げ、早急な対策を求め大規模な崩落が起きないうちに具体的な改善をするよう求めました。⑤については、これまで3年にわたって生活扶助費を削減、今度は冬季加算を大幅減額されますが、憲法25条に反すると安倍内閣の悪政を批判し国に声を届けるよう求めました。

流水

日本共産党
道国政相談室長
森つねと

読者のみなさん、お元氣ですか。紙面でお会いするのは半年ぶりになります。

前回の「かけある記」で私は、道議選(白石区選挙区)立候補の要請を受けた経緯について述べ、道議選でお会いしましょう」と締めくくりました。大きな決断だっただけに、必勝だけを考えて挑みました。

本当にたくさんのご支援をいただきましたが結果は及ばず、涙をのみました。しかし、日本共産党の道議選は一人から四人へと躍進。先日は真下紀子道議が九年ぶりに党の代表質問に立ち、圧倒的な存在感を示しました。パワーアップした道議団の活躍に、目が離せません。

私は再び、参院選の道選挙区の予定候補として活動します。背中を押してくれたのは、白石区のみなさんをはじめ、全道のみなさんの励ましの言葉でした。参院選は、この国の未来を大きく左右する選挙になります。

憲法よりも政治家、自分を上に置く安倍政権。立憲主義を否定し、憲法をなきものにし、国民を導くのは戦争です。参院選後は、憲法そのものも変えようとしています。

こうした暴挙に対し、若者も老年寄りも、心を震わせながら立ち上がっています。平和を希求し、命を守ろうとする国民の意思は、誰にも抑えることはできません。

主権者として、そして日本共産党の一員として、私も子どもたちの未来のためにたたかいます。来夏の参院選では私、森つねとを国会へ送り出してください。